

平成31年度 年間授業計画

東京都立中野工業高等学校

科目名	国語総合	単位数	2	担当者名	松戸 結佳	
対象クラス	2年A組～E組				馬場 智子	
教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・新編国語総合 大修館書店 ・常用漢字ワイドアルファ 桐原書店 ・国語便覧 大修館書店 					

科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な国語力の基礎を身につけさせる。 ・日本独自の文章を読み味わう。
-------	---

学期	月	時間	単元	内容	備考（留意点など）
1 学 期	4	7	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に生きる ・読書を広げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・何のために「働く」のか ・鏡 	<ul style="list-style-type: none"> ※漢字小テストと並行する ・筆者の考えを叙述に即して的確に読み取り、働くことについての理解を深める。 ・小説を精読して作品の理解を深め、そのおもしろさを味わう。
	5	8			
	6	8			
	7	6			
2 学 期	9	8	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の世界（古文） ・詩歌との出会い 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢物語 芥川 筒井筒 ・詩 短歌 俳句 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代仮名遣いや古典単語について復習する ・物語の登場人物たちの行動や心情を味わう。 ・作品を味わい、人生や自然に対する見方、感じ方、考え方を深める。 ・韻文の作者や作品についてテーマを決め、調べたことをわかりやすく書いてまとめる。
	10	8			
	11	8			
	12	6			
3 学 期	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩のしらべ ・読書を広げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・春暁 ・江雪 ・春望 他 ・『夢十夜』 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文訓読の方法を復習する ・唐代の詩の名作に親しみ、作者の心情や描かれた情景を想像し、味わう。 ・漢詩の形式や表現について理解する。 ・
	2	4			
	3	4			

年間 授業時数	70
------------	----

評価の 観点 方法	出欠状況・授業態度・提出物・小テストなどをもとに総合的に判断する。
-----------------	-----------------------------------

平成31年度 年間授業計画

東京都立中野工業高等学校

科目名		世界史A		単位数	2	担当 者名	齊藤 寛
対象クラス		2年 A～E組					
教科書 副教材等		世界の歴史（山川出版社） ダイアログ世界史図表（第一学習社）					
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> 国際社会への理解を育てるため、その歴史的展開について広く基礎的な教養を養う。 民主的社会の構成員としての適切な歴史観・素養を育成する。 現代社会の歴史的基盤を理解することで、自らの在り方・生き方について考察する力を養う。 					
学期	月	時間	単元	内容		備考（留意点など）	
1 学 期	4	6	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸文明 	<ul style="list-style-type: none"> 東アジア世界～儒教・仏教・道教 中華帝国と北方諸民族 西アジア世界～オリエントの文明、イスラーム教 南アジア、東南アジア～ヒンドゥー教 古代地中海世界、ヨーロッパ世界 アフリカの歴史 		<ul style="list-style-type: none"> 世界地図と地理の基礎的学力を確認 プリント作業 絵画・音楽等視聴覚教材を活用 各文化圏の風土と人々の生活の関連に留意 	
	5	7					
	6	8					
	7	5					
2 学 期	9	7	<ul style="list-style-type: none"> 世界の一体化の始まり 	<ul style="list-style-type: none"> ユーラシアの繁栄 大航海・宗教改革 絶対王政と議会王政 		<ul style="list-style-type: none"> プリント作業 絵画・音楽等視聴覚教材を活用 現代の国家や外交関係との関連に留意 ヨーロッパ諸国と日本・アジアとの関連に留意 	
	10	7					
	11	8					
	12	5					
3 学 期	1	6	<ul style="list-style-type: none"> 近代の世界 	<ul style="list-style-type: none"> アメリカの拡大 ヨーロッパの国民国家形成 列強の対立 		<ul style="list-style-type: none"> プリント作業 絵画・音楽等視聴覚教材を活用 現代の国家や外交関係との関連に留意 国民国家の意義について考えさせる 	
	2	6					
	3	5					
年間 授業時数		70					

評価の 観点・方法	定期考査、授業内小テストやプリント提出、レポート、ノート点検、授業態度などを総合的に評価する。 提出物と授業態度については、特に厳しく評価する。
--------------	---

平成 3 1 年 度 年 間 授 業 計 画

東京都立中野工業高等学校

科目名		数学 I		単位数	2	担当者名	清金 直生
対象クラス		2年 A～E組					須藤 博子
教科書 副教材等		実教出版 新訂版 高校数学 I 実教出版 新訂版 ステップノート数学 I					松岡 祐治
							宮川 奎一朗
						梶野 迅	
科目の目標		集合と論証、2次関数、データの分析についての基礎基本を理解、習得する。					
学期	月	時間	単元	内容		備考(留意点など)	
1 学 期	4	5	4章 集合と論証	1節 集合		集合と論証はこれまでの数学で学習してきた内容と異なる範囲である。気分を新たに始められる利点を生かし、苦手意識を克服できるよう注意する。 2次関数では中学での既習内容も含まれるので、再確認を徹底し、基礎・基本を定着させる	
		5		集合と要素			
	5	8		2節 命題と証明			
		6		命題			
	6	8	いろいろな証明法				
	7	5	2章 2次関数	1節 関数とグラフ			
				1次関数とそのグラフ			
				2次関数とそのグラフ			
2 学 期	9	8	2章 2次関数	1節 関数とグラフ		2次関数は関数とグラフのつながりを意識させながら、授業を行う。 2次不等式ではグラフを多用し、2次関数を視覚的に捉える。	
		10		2次関数とそのグラフ			
	10	6		2節 2次関数の値の変化			
		11		2次関数の最大値・最小値			
	11	7	2次関数のグラフと2次方程式				
	12	5	2次関数のグラフと2次不等式				
3 学 期	1	7	5章 データの分析	1節 データの分析		統計の用語の意味やその扱いについて理解させ、生徒の身近にあるデータを用いて学習を進める。	
		2		統計とグラフ			
	2	8		度数分布表とヒストグラム			
	3	3	代表値				
			データの散らばり相関関係				
年間 授業時数		70					

評価の 観点・方法	年度初めは1学年での成績による習熟度別クラスで授業を進める(進度は揃える)。数学 I は基本的な問題を中心とした共通テストを行う。確認テスト点に授業態度、宿題、授業中の課題等を加味し、各クラス担当で評価する。
--------------	--

平成 3 1 年度 年間授業計画

東京都立中野工業高等学校

科目名	物理基礎	単位数	3	担当者名	村野 浩之
対象クラス	2 A、2 B				
教科書 副教材等	東京書籍 新編 物理基礎				

科目の目標	自然に対する関心や探求心を高め、物理的に探求する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させる。
-------	---

学期	月	時間	単元	内容	備考（留意点など）
1 学 期	4	1 5	物体の運動とエネルギー ・直線運動の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・速さ、速度 ・等速直線運動 ・加速度 ・等加速直線運動 	<p>x-t グラフ、v-t グラフを使って運動の様子が表せることを知り、公式を導けるようにする。</p> <p>力をベクトルとして扱うことができるようにする。</p> <p>運動の法則について理解する。</p>
	5	2 2	中間考査		
	6		・力と運動の法則	<ul style="list-style-type: none"> ・力とは ・力の合成と分解 ・作用反作用の法則 	
	7	5	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・慣性の法則 ・運動の法則 	
2 学 期	9	2 2	・仕事とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事 ・仕事率 	<p>仕事の原理について理解し、仕事量、仕事率の計算ができるようにする。</p> <p>エネルギーの保存について理解する。</p> <p>それぞれの公式を理解し、使えるようにする。</p>
	10		中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事とエネルギー ・様々なエネルギーとその変換 	
	11	2 3	・力学的エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・位置エネルギー ・運動エネルギー ・弾性力エネルギー 	
	12		期末考査		
3 学 期	1	1 5	・熱	<ul style="list-style-type: none"> ・熱と温度 ・物質の三態 ・熱の移動と保存 	<p>比熱、熱容量などの物理量について理解し、熱量保存の法則を伝えるようにする。</p>
	2		学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・熱と仕事 	
	3				

評価の 観点・方法	考查点・実験記録・小テスト、提出物、授業態度など。
--------------	---------------------------

計 7 0 時間

平成 31 年度 年間授業計画

東京都立中野工業高等学校

科目名	体 育	単位数	2	担 当 者 名	大坪 健太
対象クラス	2学年全クラス				坂口 雄基
教科書 副教材等	現代高等保健体育 ステップアップ高校スポーツ 2017				宮住 悠生

科目の目標	各種の運動の合理的実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、身体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
-------	--

学期	月	時間	単元	内容	備考 (留意点など)
1 学 期	4	6	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・新体力テスト ・体づくり運動 ・体育祭練習 ・水泳 ・オリパラ教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業の説明 ・新体力テスト ・体づくり運動 ・体育祭練習 ・水泳 ①クロール ②背泳ぎ ・障がい者スポーツについて、講演会を通して学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目で評価する。 ・体力の向上と柔軟性を身に付ける。 ・運動の特性を理解し、自分の能力に適した技能を身に付ける。 ・個々の体力に合わせ目標を設定し練習を行なう。
	5	6			
	6	8			
	7	6			
2 学 期	9	6	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳 ・体づくり運動 ・サッカー ・バスケットボール ・バレーボール ・卓球 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳 1 学期参照 ・体づくり運動 ・サッカー ①個人的技能 ②集団的技能 ・バレーボール ①個人的技能 ②集団的技能 ・バスケットボール ①シュート、パス各種 ②ゲーム ・卓球 ①各種ストローク ②ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目で評価する。 ・お互い協力して練習やゲームに参加できているか。 ・集団や個人に対し健康安全に留意して運動を行なっているか。 ・個々の体力に合わせ目標を設定し練習を行なう。
	10	6			
	11	8			
	12	6			
3 学 期	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論 ・持久走 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論 ・持久走 ①計測 ②LSD 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目で評価する。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わおうとしているか。 ・運動の練習の中で、公正・協力・責任の態度を育成する。 ・個々の体力に合わせ目標を設定し練習を行なう。
	2	8			
	3	4			

年間授業時数	70
--------	----

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう自ら進んで計画的に運動をしようとしているか。(関心・意欲・態度) ・自己の能力と運動の特性に応じた課題を目指して、運動の合理的な行い方や計画的な活動の仕方を考え、工夫しているか。(思考・判断) ・自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。(運動技能) <p>以上のことを観点にしている。</p>
----------	---

科目名	保 健		単位数	1	担当 者 名	杉原 康介
対象クラス	2学年全クラス					
教科書	現代高等保健体育					
副教材等						
科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。					
学期	月	時間	単元	内容	備考（留意点など）	
1 学 期	4	3	生涯を通じる健康	・生涯の各段階における健康	・各内容で評価する。 ・生涯にわたって健康を保持増進するためには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理を行う必要があることを理解させる。	
	5	3		・思春期と健康		
	6	4		・妊娠・出産と健康		
	7	3		・家族計画と人工妊娠中絶 ・加齢と健康		
2 学 期	9	3	生涯を通じる健康	・保健・医療制度	・各内容で評価する。 ・地域の保健センター、保健所、医療機関などの適切な活用方法を理解させる。 ・社会生活における健康の保持増進には、環境・食品・労働の関係が重要であることを理解させる。	
	10	3		・保健・医療サービスの活用		
	11	4	社会生活と健康	・環境と健康		
	12	3	・環境衛生活動 ・食品衛生活動			
3 学 期	1	3	社会生活と健康	・労働と健康	・各内容で評価する。 ・職業病や労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化を踏まえた健康管理及び安全管理を行うことが必要であることを理解させる。	
	2	4		・労働災害と職業病		
	3	2		・健康的な職業生活		
年間授業時数	35					

評価の 観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・個人生活や社会生活における健康、安全に関心を持ち意欲的に学習に取り組んでいるか。（関心・意欲・態度） ・個人生活や社会生活における健康、安全について課題の解決を目指して考え、判断しているか。（思考・判断） ・個人生活や社会生活における健康、安全について課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し知識を身に付けているか。（知識・理解） <p style="text-align: right;">以上のことを観点にしている。</p>
--------------	--

平成 3 1 年 度 年 間 授 業 計 画

東京都立中野工業高等学校

科目名		コミュニケーション英語 I		単位数	2	担 当 者 名	吉田 真紀
対象クラス		2年全クラス					野崎 樹久生
教科書 副教材等		VISTA English Communication I 三省堂					赤松 修
							福田 隆裕 / Kevin England (ALT)
科目の目標		基本的英文法を理解し、英語の読解力を養う。					
学期	月	時間	単元	内容		備考 (留意点など)	
1 学 期	4	6	Lesson 6	Toothbrushing in Edo 動名詞を理解する。 江戸時代に流行した道具について知り、日本の独特の文化を簡易な英語で表現できることを知る。			
	5	6	中間考査				
	6	8	lesson 7	Machu Picchu 現在完了を理解する。 インカ文明の一端を知る。世界遺産が複合遺産である理由を考察する。			
	7	5	期末考査	Cathy Freeman の競技人生を英語で読みパラリンピックを考える。			
2 学 期	9	8	Lesson 8	Motala and Landmines 受動態を理解する。 動物と人間の絆を考える。地雷が動物にも被害を与えていることを知る。			
	10	8	Lesson 9 中間考査	Dick Bruna 関係代名詞を理解する。 ディックブルーナーさんの社会的貢献活動を知る。			
	11	8	Lesson 10 期末考査	Tsujii, the Great Pianist 関係副詞、形式主語のItを理解する。			
	12	5		困難を克服して一途に目標に向かい努力することの大切さを考える。			
3 学 期	1	5	Lesson 11	Ideas from Nature 分詞構文を理解する。 生活を豊かにするアイデアは自然から得ることも多い。自然との共生を考える。			
	2	6	学年末考査				
	3	5					
年間 授業時数		70					

評価の 観点・方法	考査の素点 + 提出物 + Speaking + 平常点 で評価する。
--------------	-------------------------------------

平成 3 1 年 度 年 間 授 業 計 画

東京都立中野工業高等学校

科目名	家庭基礎	単位数	2	担 当 者 名	木谷 宣子
対象クラス	2 学年				上田 恵眞子
教科書 副教材等	新図説 家庭基礎				今井 美南
					柿沼 里美
				竹本 智江子	

科目の目標	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させる。家庭の生活課題を主体的に解決すると共に、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育くむ。
-------	---

学期	月	時間	単元	内容	備考（留意点など）
1 学 期	4	6	「自分らしい生き方と家族」	○今の自分を見つめる ○青年期の生き方について考える ○家族に関する法律の理念と背景	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の今後の在り方を考えるきっかけとする。 ・自立に必要な要素を理解させる。 ・家族の形は多様であること、自分はどのような家族を創っていきたいかを考えさせる。 ・高齢者の生活、健康、経済を理解し、介護についての知識を身につけさせる。 ・エプロン製作を通して、衣服の役割や構成を理解させる。
	5	8	「高齢者とかかわる」	○高齢社会に生きる私たちの暮らし ○高齢者の心身の変化・生活	
	6	8	「衣生活をつくる」	○被服作製	
	7	4			
2 学 期	9	8	「子どもとかかわる」	○子どもを知る ○青年期の健康と生命の芽ばえ ○からだの発達・心の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期が将来の保育につながっている意識を持たせる。 ・保育時の留意点を理解させる。 ・児童文化財の子どもへの影響や児童の権利や社会全体での子育て支援について理解させる。 ・現代の食生活の課題を理解させる。 ・栄養素の種類と働きを理解し、好ましいバランスで食事を摂る
	10	8		○子どもと遊び	
	11	6		○子どもの権利と福祉	

	12	4		<ul style="list-style-type: none"> ○私たちの食生活と健康 ○食品の栄養素とからだの成分 ○食品の選択と表示 ○調理実習 	<p>ことができる実践力を身につけさせる。</p>
3 学期	1	6	「消費者として自立する」	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的な消費行動と契約 ○多様化する販売方法と問題商 法 ○適切な契約のための制度と法 律 ○消費者の権利と責任 ○人と住まいのかかわり ○住空間の成り立ちと平面計画 ○地域と防災 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な商品選択をするための知識を身につけさせる。 ・契約と消費者トラブルを知り、被害に遭わない消費態度を育てる。 ・住まいの機能を理解させる。 ・平面図の読み取りができるようにする。 ・防災意識を育てる。
	2	8	「住生活をつくる」		
	3	4			
年間 授業時数	70				

<p>評価の 観点・方法</p>	<p>①定期考査…学んだ知識・技術を習得しているか。</p> <p>②提出物…提出物の内容、提出状況。</p> <p>③授業態度…講義、実験、実習などに、意欲的に取り組んでいるか。授業に臨む準備や態度は、望ましいものであるか。</p> <p>① ③を総合的に評価する。</p>
----------------------	--

